

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	せいとく介護こども福祉専門学校
設置者名	学校法人成徳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育社会福祉専門課程	介護福祉科	夜・通信	165 時間	160 時間	
	こども福祉科 (保育士・幼稚園教諭コース)	夜・通信	165 時間	160 時間	
	こども福祉科 (保育士コース)	夜・通信	165 時間	160 時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	せいとく介護こども福祉専門学校
設置者名	学校法人成徳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.seitoku-g.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	北海道議会議員	令和3年6月8日～ 令和5年6月7日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	札幌市議会議員	令和3年6月8日～ 令和5年6月7日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	札幌市身体障害者スポーツ協会会長	令和3年6月8日～ 令和5年6月7日	経営計画の策定
非常勤	社会福祉法人溪仁会 法人本部人事部長	令和3年6月8日～ 令和5年6月7日	経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	せいとく介護こども福祉専門学校
設置者名	学校法人成徳学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	せいとく介護こども福祉専門学校
設置者名	学校法人成徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
各教科において授業の方法や内容・到達目標等の検討を行い、共通認識をもって各担当科目において作成している。 ホームページに公表する。	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
提出物の提出状況や出席状況、実技演習やグループワークへの取り組み状況から学習意欲を把握し、試験については6割以上で単位を認定する基準を設けている。レポートや卒業論文について、客観的な評価項目を設けて採点し、試験同様6割以上で単位を認定している。認定会議において最終認定を行う。	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>各学年、前期・後期に「秀・優・良・可・不可」の成績を数値化し、その平均点をもって成績分析表を作成する。 ホームページで公表する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全ての教科において、単位認定がされていることや出席状況の基準を設けており、その基準に基づいて卒業認定会議において最終的に卒業が認定される。 ホームページで公表する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	せいとく介護こども福祉専門学校
設置者名	学校法人成徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a>
財産目録	<a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a>
事業報告書	<a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育社会福祉専門課程	介護福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1940時間	950時間	540時間	450時間		
			1940時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		49	19人	4人	0人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各教科において、授業の方法や内容、到達目標等の検討を行い、共通認識をもって各担当科目において作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 提出物の提出状況や出席状況、実技演習やグループワークへの取り組み状況から学習意欲の把握をし、試験については6割以上で単位を認定する基準を設けている。レポートや卒業論文についても、客観的な評価項目を設けて採点し、試験同様6割以上で単位を認定している。認定会議において最終認定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 全ての教科において、単位認定がされていることや出席状況の基準を設けており、その基準に基づいて卒業認定会議において最終的に卒業が認定される。 ホームページで公表する。

学修支援等 (概要) クラス担任制をとっている。 面談(学生・保護者)、スクールカウンセラーの導入
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	15人 (88.2%)	2人 (11.8%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・障害者支援施設			
(就職指導内容) 就職ガイダンスを1年より7回実施、その他必要に応じて個別指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士国家試験受験資格・レクリエーションインストラクター			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	1人	2.8%
(中途退学の主な理由) 身体的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制、実習・就職のための学力評価試験、基礎学力を含めた補習、個別面談、保護者面談、スクールカウンセラーの導入、教職員全体会議(週1回)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	教育社会福祉 専門課程	こども福祉科 (保育士・幼稚園教諭コース)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1875時間	講義	演習	実習	実験	実技
			525時間	1005時間	430時間		30時間
			1990時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	28	0人	5人	0人	5人		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	教育社会福祉 専門課程	こども福祉科 (保育士コース)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1865時間	525時間	915時間	395時間		30時間
			1865時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	28	0人	5人	0人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各教科において、授業の方法や内容、到達目標等の検討を行い、共通認識をもって各担当科目において作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 提出物の提出状況や出席状況、実技演習やグループワークへの取り組み状況から学習意欲の把握をし、試験については6割以上で単位を認定する基準を設けている。レポートや卒業論文についても、客観的な評価項目を設けて採点し、試験同様6割以上で単位を認定している。認定会議において最終認定を行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 全ての教科において、単位認定がされていることや出席状況の基準を設けており、その基準に基づいて卒業認定会議において最終的に卒業が認定される。 ホームページで公表する。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとっている。 面談（学生・保護者）、居住先訪問、スクールカウンセラーの導入

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	32人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育所・認定こども園・幼稚園・児童養護施設等			
（就職指導内容） 就職ガイダンスを1年より7回実施、その他必要に応じて個別指導			



(主な学修成果(資格・検定等)) (保育士・幼稚園教諭コース) 保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事任用資格・介護職員初任者研修 (保育士コース) 保育士・児童厚生員2級・児童体育指導者講習・介護職員初任者研修 (備考) (任意記載事項)
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	3 人	4.5 %
(中途退学の主な理由) 身体的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制、実習・就職のための学力認定試験・基礎学力を含めた補習、個別面談、保護者面談、スクールカウンセラーの導入、教職員全体会議(週1回)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉科	100,000 円	660,000 円	360,000 円	
こども福祉科	100,000 円	600,000 円	230,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
学生費用援助制度 (入学後、年間授業料のうち、最大 100,000 円免除) 学費サポート制度 介護職員初任者研修優遇制度 (入学費用の一部 50,000 円を免除) リレーションシップ制度 (入学費用の一部 100,000 円を免除) 母子家庭・父子家庭支援制度 (入学費用の一部 30,000 円を免除) 低所得世帯支援制度 (入学金の一部 30,000 円を免除) 再進学支援制度 (入学金の一部 100,000 円を免除)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
<a href="https://www.seitoku-g.ac.jp/">https://www.seitoku-g.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
(1) 主な評価項目 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学業成績、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守 (2) 評価委員の構成 企業等 4名 卒業生 1名 合計 5名 (3) 評価結果の活用方法 毎年 7 月に学校関係者評価委員会を開催し、結果に基づき、自己点検と併せた分析をしたのち、8 月に職員会議を開催して教職員との共有をはかり、学生指導等に活用していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
生活介護事業所 ゆめくる 管理者	令和 3 年 4 月 1 日～	企業等委員
生活介護事業所 ゆめきた 管理者	令和 5 年 3 月 31 日	
社会福祉法人 ほくろく福祉協会 事業運営部長	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日	卒業生
光星はとポッポ保育園 園長	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日	企業等委員
特別養護老人ホーム 厚別栄和荘 施設長	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 5 年 3 月 31 日	企業等委員

前 北海道文教大学 教授	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	学識経験者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.seitoku-g.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.seitoku-g.ac.jp/
---

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	せいとく介護こども福祉専門学校
設置者名	学校法人成徳学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		20人	20人	40人
内 訳	第Ⅰ区分	12人	11人	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				40人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令 (令和元年政令第49号) 第2条第1項第1号、第2号、

第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科 を含む。）及び専門学校（修業 年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）
--	---------	---

	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。